

中越の国有林における取組

—令和7年度—

中越森林管理署



☆中越流域民国連携会議

～低コスト施行と効率化を目指す現地検討会～

中越森林管理署では、令和7年10月8日（水）に、中越流域民国連携会議現地検討会を開催しました。

森林総合研究所 森林路網研究室の山口主任研究員による「道路改良による対策」、構造利用研究領域の加藤チーム長による「構造用合板を埋設する路面補強技術」の講義が行われ、県・市・森林組合等約50名が参加されました。

講義会場の状況



講義状況1(道路改良による対策)



講義状況2(構造用合板を埋設)

☆中越流域民国連携会議

現地検討会

魚沼市・南魚沼市に所在する民有林で、林道の改良や土壌の状態などについて現地検討会が行われ、「道によって収支が大きく変わってしまう。何か対策はないか。」「傾斜地でも合板を埋設することで効果が期待できるのか。」などと言った積極的な意見交換が行われ、盛況のうちに閉会することができました。

現地検討会の様子



現地にて説明する様子



第1 現地会場



第2 試験会場

☆小学校の森林教室

森林環境教育の一環として、小学校4年生徒を対象とした森林教室・木工教室を継続実施、各種イベントに参加し木工教室を実施

小学校の森林教室においては、学校林での体験活動や木工教室を実施しており、学校側より今後も実施して欲しいとの意向をいただきました。

また、各種地域イベントにおいては、夏休みの時期ということもあり多くの参加があり大変好評でした。

森林教室・各種イベントの様子



学校林での体験活動



小学校での木工教室



地域イベントへの参加

☆民国連携によるシステム販売

民有林と連携して一定規模の木材数量を供給

民有林と連携した林産物(丸太)の安定供給を目的としたシステム販売を実施しました。

令和7年度については民国合わせて一般材1,081m³、低質材760m³の販売を実施しました。

協定相手方の湯沢町からは今後とも継続の意向があることを確認しました。

巻立状況・土場桧山



山土場の巻立状況



水無土場の桧山写真①



水無土場の桧山写真②